

第14回JCAユースクワイア (全日本ユース選抜合唱団)



去る3月30日(日)に第14回JCAユースクワイアコンサートが、神奈川県立音楽堂にて行われました。

この取り組みは、全日本合唱連盟と朝日新聞社が、次代を担う合唱人・合唱指導者の育成を目的に始めたプロジェクトです。(各県の持ち回りで行われており、今回は神奈川県が主管となって進めました。)全国からオーディションで選考された16～28歳の歌手とアシスタントコンダクターは、合唱界をリードする世界的な指揮者と4日間の集中リハーサルを共にし、最終日のコンサートでその成果を発表します。今回はスペインよ

り、Josep Vila i Casañas (ジュゼップ・ビラ・イ・カザーニャス) 先生をお招きしました。

集中リハーサルは3月26日(水)から4日間、かながわアートホールにて行われました。全国津々浦々からやってきた参加者たちは、最初は互いに緊張もしていたようですが、時が経つにつれてだんだんと打ち解けていたようでした。慣れない英語でのリハーサルや指揮者の要求に必死に 대응しようとする経験は代えがたいものになったと思います。参加者はそれぞれに志をもっており、地方での合唱活動を既に盛り上げている存在が何人もいました。次世代のトップランナーたちにはこれからも精力的に活動していただきたいです。

また、この集中リハーサルや演奏会当日のスタッフには、過去のJCAユース参加者も協力してくださり、非常に心強かったです。彼/彼女らもまた、JCAユースそのものに恩返しをしたいという意志のもと、献身的に支えてくださいました。このプロジェクトの好ましい循環が生まれていると感じました。

そして、この事業最大の課題は集客でした。事前の申し込みも大変少なく、チケット締め切り日を延長したり、様々な策を講じました。正直、今回もあまり期待はしていなかったのですが、当日はなんとおよそ800名もの方にご来場いただき、満席と言っても過言ではないほどでした。ここまでの盛り上がりとなったのはJCAユースには前例のないことでした。多くのお客様に見守られながら、JCAユースの演奏もジュゼップ先生の素晴らしいリハーサルを経たおかげで、大変素晴らしいものでした。また賛助出演として、県内中高生を中心とした「合唱やろうぜ in KANAGAWA!!」の演奏も見事でした。きっと未来のJCAユースメンバーになるであろうと思います。

来年は岡山県倉敷市にて3月28日(土)に演奏会が行われます。素晴らしい倉敷の街並み見物もかねてぜひおでかけください。

神奈川県合唱連盟事務局次長 今井 祐之

第48回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 ～女声合唱の祭典～

紅葉坂を駆け上がる海風も心地よい快晴となった2025年4月19日(土)、神奈川県立音楽堂にて、“第48回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会～女声合唱の祭典～”が開催されました。

選考委員に、声楽家の上杉清仁先生、作曲家の上田真樹先生、指揮者・声楽家の鬼島孝子先生をお迎えして、初参加3団体を含む19団体371名の出演者の歌声がホールに響き渡りました。

お馴染みの団体とフレッシュな顔ぶれの合唱団すべてが個性を光らせ、また、この日のためにご準備されたとっても素敵な衣装に身を包み、日頃の練習の成果を存分に披露していただき、大変活気のある大会となりました。

選考の結果、優秀賞受賞団体から4団体、優良賞から抽選により5団体、ほほえみ賞を受賞された団体、合わせて10団体が、7月にYCC県民文化ホール(山梨県)で開催される関東支部大会へ推薦されました。思う存分楽しんでいただきたいと思います。

“女声合唱の祭典”と副題がついて2年となり、さらに再来年度には第50回目を迎える“全日本おかあさんコーラス大会”。神奈川県合唱連盟の新年度最初のイベントを、今年も全力で盛り上げていただいた出演者、スタッフ、関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

おかあさんコーラス 実行委員長 中原 勇希



上田 真樹先生 鬼島 孝子先生 上杉 清仁先生

第48回全日本おかあさんコーラス 神奈川県大会選考結果(賞ごとに出演順)

(◎は関東支部大会への推薦団体)

ブルーボロニア	優秀賞	(推薦希望なし)
女声合唱団「松」 ^{SHO}	優秀賞	◎
フラウエンコア・ヴォンネ	優秀賞	◎
湘南はまゆう	優秀賞	◎
アンサンブルなうえる	優秀賞	◎
緑フラウエンコール	優秀賞	(推薦希望なし)
ラ・カンパネラ	優良賞	◎
女声合唱団コーラル・ベル	優良賞	◎
コーロ・トゥッティ	優良賞	◎
アンサンブルMIMI	優良賞	◎
ボカ・グランデ	優良賞	◎
La Fuente Serena	優良賞	
モア	ほほえみ賞	◎

～全体講評～ 上杉 清仁 先生

お疲れさまでした。どの団も100点を付けたいくらい音楽的に素晴らしく、感動しました。コロナ以降の影響も様々あるなかで、多くの方がこの場に集われていることに感謝です。若い方も、根を張り葉を茂らせた方々の練られた演奏も、みな素晴らしかったです。声楽家からの講評としては、皆さんに発声的にもっと伸びていただきたい。

足が大変そうな方でも、歌っているときはシャキッとされていますね。外側の筋肉は衰えていくものなのですが、内側の筋肉は退化しない筋肉といわれています。鍛えても大きくならない、神秘的なものです。トレーニングをきちんとすれば、今際の際まで歌い続けることができます。ヴォイトレをしっかりして声を育ててほしいと思います。

また、ユニゾンを一つの声として、色として反映できているかということも考えていただきたい。自分の声はかけがえのないものなので、自分の良さをしっかり使うこと。不得意なことは隣の人に補ってもらおう。自分を2割減にして揃えるのではなく、ひとりひとりの声が機能的に使われたものが、この空間で揃うことが大事です。表現と声がリンクするように、声を見つめながら合唱を続けてほしいと思います。



フラウエンコア・ヴォンネ

写真提供:株式会社フォトライフ

今回、私たちは、憧れの三善作品に挑戦いたしました。北原白秋の思いをそして三善晃の音楽を「奥行きが深く陰影のある表現で演奏したい」と願い、練習を重ねて参りました。一曲目は、怪しげで超自然的現象の雰囲気(曼珠沙華に託した若い母の気持ち)、二曲目は、届かぬ想いの苛立ちが、(赤い夕陽に共感し、思わず憎まれ口を吐露してしまった男性の気持ち)対照的な色彩で、会場の皆様へ伝わりますようにとの思いでステージに臨みました。魂を揺さぶるような心象風景の情景の追求は、まだ道半ばです。これからもより一層の努力を続けていこうと思っています。

フラウエンコア・ヴォンネ 後藤 公子

アンサンブルなうえるは、「日曜日の朝を爽やかに」をテーマに、主に合唱祭やジョイントコンサートなどでの演奏を中心に活動を続けてきました。この度初めての挑戦となるこの大会で優秀賞をいただき、関東大会に出場させていただけることとなりました。団員一同本当に嬉しく思っております。普段練習後のランチを楽しみに歌っているわたしたちなので、甲府へ行ってどんな美味しいものを食べたり飲んだりしようか…そんなことばかり考えています。そのためには良い演奏をしなければという思いで、いつもわたしたちを支えてくれる指揮者やピアニストの皆さま、応援してくれる皆さまへの感謝の気持ちと共に練習を積んでいきたいと思います。 アンサンブルなうえる 相田 歩



アンサンブルなうえる



女声合唱団コーラル・ベル

写真提供:株式会社フォトライフ

48年前、若いママたちの同好会としてコーラル・ベルは発足しました。20数年前からはコンクールにチャレンジして全国大会に出場した経験もあります。コロナ禍で活動休止を経て、10人のアカペラで再開。隔週で自主練習の形を取り、手探りの中意見を出し合い実行していく姿勢と強い結束が生まれたことは大きな収穫です。活動再開後のコンクールには最初アカペラで、次には指揮の山口彩先生がピアノを弾いてくださりと試行錯誤を繰り返しましたが、今回6年ぶりにピアニストも迎えての演奏で優良賞をいただき、団員一同感謝、感激です!! なかにしあかね先生の作品は初めてでしたが、エミリー・ディキンソンの世界観と美しい旋律は私たちの大好きな2曲になりました。関東大会では、12人で思いっきり弾きたいと思います! コーラル・ベル 佐藤 直美

聴いて下さる方の心に響くような歌を歌おうと始まった合唱団です。県大会は今回が2度目の挑戦でしたが、優良賞を受賞することが出来、目標にしていた関東大会に挑めることをとても嬉しく思います。今回の演奏曲の「春」は、私達にとっていつか歌ってみたい憧れの曲でした。練習過程において、歌えば歌うほど壁にぶつかり、とても苦戦しました。本番では、一人一人が思いを込めて歌い、ホールに響く私達の声がひとつになった瞬間を味わうことが出来たように思います。今ここで歌える事の幸せを実感し、支えてくださる方への感謝の気持ちでいっぱいです。更なる進化を心に届く歌声を響かせたいと思います。ありがとうございました。 コーロトウッティ 千田 恵美



コーロトウッティ

かながわ県民ホール フィナーレコンサート



県民ホールフィナーレコンサート(撮影阿部章仁)

2024年度末の2025年3月31日(月)に、「ありがとう神奈川県民ホールフィナーレコンサート」が開催されました。

神奈川県民ホールは、横浜の海を望む全国屈指の大型文化施設として、1975年に開館しました。このたび老朽化により休館となりましたが、この50年間に多くの感動を残してくれました。1979年の第32回全日本合唱コンクール全国大会(神奈川大会)での名演奏の数々は、いまだに蘇ってきます。そして、昨年の第79回関東合唱コンクール高等学校・中学校部門の開催も記憶に新しいところです。

そんな県民ホールに感謝の気持ちを込めて、神奈川県合唱連盟特別混声合唱団が、松尾葉子指揮、神奈川フィルハーモニー管弦楽団で、神奈川にゆかりのある團伊玖磨の「花の街」、バリトンの宮本益光、ソプラノの塩田美奈子とともに、オペラ「カルメン」より「ハバネラ」と「闘牛士の歌」、ゲストの白井貴子とともに、2001年に初演された、21世紀の新しい神奈川の合唱曲「ふるさとの風になりたい」を演奏してきました。

神奈川の音楽文化発信の拠点ともいべき神奈川県民ホールが一日も早く復活し、新たな響きがきらめく日を、心から待ち望んでおります。

神奈川県合唱連盟理事長 岩本 達明

2025年度神奈川県合唱連盟定時総会報告

2025年度神奈川県合唱連盟定時総会は5月17日(土) 18:00からかながわ県民センターホールにて開催されました。加盟総数229会員のうち、出席45会員、委任115会員の合計160会員の出席により総会は成立しました。

議長に横浜混声合唱団の金野健一郎氏が選出され、書記に湘南はまゆうの青山道代さんが選任されました。

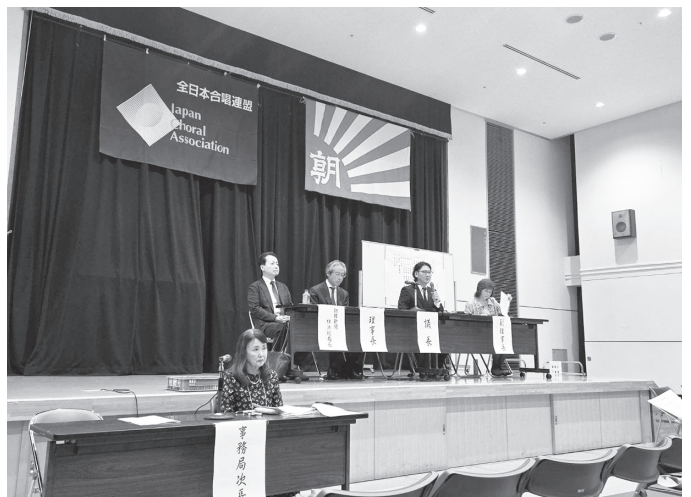
2024年度の事業報告、同収支決算報告、及び監査報告が行われ、質疑応答はなく全て承認されました。

続いて2025年度の事業計画案、同収支予算案の審議が行われ、質疑応答の後、それぞれ原案通り承認されました。所属合唱団の退会による理事1名の退任があり、必要に応じて後任を調整する旨報告がありました。

また、会員名簿の発行について質問がありました。合唱団同士の交流や演奏会の招待状の発送ができるようにしたいとのご意見に対し、個人情報の関係で名簿発行は難しい、連絡先の公開を半数の会員が望んでいない、県連ではHPを活用した会員情報を検討準備中という回答がありました。

2025年度がスタートしました。会員数の減少が続いている状況に歯止めをかけ、活動を盛り上げていけるよう、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

神奈川県合唱連盟事務局長 岩渕 正観



清泉女学院高等学校音楽部
『ブダペスト国際合唱コンクール』

3部門で金賞受賞!



清泉女学院ブダペストでの演奏

コロナ禍により延期されていた海外遠征が、6年ぶりにようやく再開されました。4月11日、高校生36人は航空会社のストライキの影響で急きょ関西空港から出発、途中ヘルシンキで10時間の飛行機待ちなどトラブルが続きましたが、4カ国の合唱団がそれぞれ20分間のステージを披露するオープニングコンサートには無事に参加することができました。開催地のブダペストは、中世ヨーロッパの街並みを今に残す世界遺産の美しい都市。風光明媚なドナウ川沿いのコンサートホールにて、11カ国26団体による連日のパフォーマンスが

繰り広げられ、清泉はユース部門と宗教曲部門において、各20分間のステージを披露しました。最終日には、ハンガリー最大の“バルトーク国立コンサートホール”にて、民族音楽部門と、各カテゴリ1位を受賞した8団体によるグランプリ選に出場。信長作品の和声は大ホール全体に美しく響き、松下作品ではコレオグラフィーと多様な声質に観客から笑いが起き、大歓声が湧きました。表彰式では、清泉は3部門すべてで高得点の金賞を受賞し、ユース部門では1位のトロフィーを獲得することができました。ラトビアやイタリアの合唱団と草冠や髪飾りを交換しての交流、聖イシュトヴァーン大聖堂やマーチャーシュ聖堂での螺旋状に響きが立ち上る献歌のひとつは、生徒たちにとって一生の宝物になったと思います。合唱連盟関係の皆様、学校関係者、そして保護者の皆様の温かい応援に、心より感謝申し上げます。 清泉女学院音楽部顧問 佐藤 美紀子

第9回若い指揮者のための合唱指揮コンクールに

県連今井事務局次長が出場!



(撮影 渡辺 功)

Tokyo Cantat 2025 第9回若い指揮者のための合唱指揮コンクール【本選】が、4月29日(火・祝)に東京音楽大学TCMホールにて開催されました。事前に予備審査が行われ、予選43名から12名が本選に出場します。今回、本選には神奈川県合唱連盟事務局次長の今井祐之さんが出場しました。初見課題は短時間の譜読みの後、モデル合唱団に舞台リハーサルを行います。12人それぞれの個性溢れる演奏が公開で行われ、大変興味深いコンクールです。ルネサンス課題は4曲あり、1曲につき3人が同じ曲をリハーサル

します。演奏順や課題曲は当日くじ引きで決まります。今井さんはトップバッターで登場、やや緊張された様子でしたが、落ち着いて課題をこなされていました。惜しくも最終審査ファイナリストの6名には選ばれませんでした。限られた時間の中で真摯に音楽と向き合う後ろ姿が印象的でした。

今井さんからひとこと 全国から43名の応募があった中、選んでいただいたことがまず幸せでした。また、出場にあたって多くの方から期待の声を寄せていただき、また現地にも応援に来てくださったことが何よりの喜びでした。結果だけ見れば揮わずというところでしたが、他の出場者を前にして、改めて自分の指揮者としての技術や姿勢に多くの気づきがあり、非常に有意義かつ貴重な機会でした。その他感想はWeb上のnoteというツールにも残していますので、もしもよろしければご覧ください。これからもひたむきに精進していきたいと思います。

合唱を
愛する人

探訪

第6回 門井 淑治さん



■門井淑治■ 1954年東京大森生まれ。1975年藤沢市の湘南市民コールに入団。その年の全日本合唱コンクール全国大会で金賞を受賞。1980年に小澤征爾とのマーラー交響曲第8番《千人の交響曲》の共演を機にオーケストラとの共演を目的とした晋友会合唱団を関屋晋先生のもとで結成。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、サイトウキネンオーケストラ等との共演を果たす。現在も湘南市民コールに所属するほか、藤沢市みらい創造財団理事、藤沢市合唱連盟理事長を務める。

藤沢市合唱連盟理事長として、市民オペラなど藤沢市の文化芸術活動を長く支えていらっしゃる門井淑治さんにお話を伺いました。

*合唱との出会いは？

東京大田区の山王小学校のコーラス部です。FMにも出ていました。中高は男子校で合唱部はなく、大学のグリーククラブに入ってやっとまた合唱ができました。大学3年の時先輩のお誘いで湘南市民コールに入り、その年の全国コンクールで金賞を取ってから世界が変わりました。社会人になってからは東京の松原混声合唱団と一緒に小澤征爾先生と共演し、以後、関屋晋先生により晋友会合唱団が設立されました。アマチュア合唱団でも真剣に練習に取り組むことで良い音楽ができると信頼され、1988年にはベルリンフィルの定期演奏会に出演し「カルミナ・ブラーナ」を演奏したのはその現われです。1993年の佐渡裕指揮の新日フィル「ヴェルレク」では、リハで不調のソリストに代わりテナーソロを務めました。その時に佐渡裕先生とお互いに目指す音楽の話をたくさんして仲良くなりました。その時のソプラノは佐藤しのぶ(故人)さんでしたが、しのぶさんともとても仲良くしてもらい、真剣に音楽に取り組む姿勢に感動しました。

*藤沢市合唱連盟の理事長はいつから務めていらっしゃるのですか？

2001年からですね。藤沢市合唱連盟は1981年に藤沢市教育委員会の支援で設立した市の組織なので、音楽活動の環境はとても恵まれています。公民館の数が多く、どこでも音楽活動ができる部屋がありますしピアノも無料。施設の使用料も安価ですから自由に練習できます。

*藤沢が市民オペラの発祥であり、その演奏レベルも高いと聞きましたが？

1973年藤沢市が福永陽一郎氏に委託して第1回が開催されました。市民オーケストラを作り、市民合唱団も参加してプロの音楽家と一緒に演奏する「市民オペラ」が全国に先駆けて始まりました。藤沢市合唱連盟に所属している合唱団からの参加を条件とし、しっかり練習をしなければ出演できない体制にしています。お客様には高い入場料を払っていただくのですから、「アマチュアだから」という甘えは許されません。自分たちが楽しむ合唱団の

演奏会とは訳が違います。

*アマチュアがクオリティを保つにはどうしたらいいのでしょうか？

かつて小澤征爾先生や関屋晋先生に指揮をしていただいた時、どんな時でも絶対に手を抜かない。練習を重ねることでお客様に感動を与えることができる。と言葉ではなくその態度で教えていただきました。アマチュアを育てるには、やはり一生懸命練習するしかないですね。みっちり練習して、お客様が本当に感動しているのを感じられる喜びを味わってもらいたいです。

*昨年の藤沢市民オペラ「魔笛」では子どもたちも活躍していましたね

序曲から童子3人が登場して遊び出し、遊び疲れた子供たちが寝た夢の中で「魔笛」が始まるという演出で、オーディションで合格した子供たちが本当にがんばりました。藤沢では子どもたちと大人が一緒にいることをとても大事にしています。合唱祭でも子供たちに女声パートを歌ってもらうフォーレの「レクイエム」や「ゆずり葉の木の下」などを演奏します。子どもたちが楽しかったと思えば、大人になった時、そばにいた大人の合唱団に入ってきます。

*子どもたちへの配慮がしっかりされているのですね

合唱連盟の使命として、大人が子供を支えることが当然という意識になっていて、ジュニア、学生団体の年会費や合唱祭参加費は免除です。藤沢市の全面的な協力と教育委員会のバックアップがしっかりしていることもありますね。市立中学19校のうち合唱部があるのは3校だけです。ジュニアコーラスは声変わりと歌えなくなってしまう。そんな子どもたちの受け皿として、一般合唱団が合唱部の卒業生を受け入れる試みもありました。昨年は合唱部が無くて歌えない中学生を教育委員会が集め、合唱祭でNコン課題曲を歌うという企画をしました。今年も教育委員会が中学生を募集し、合唱祭で信長貴富先生に指揮をしていただき、大人と一緒に「ゆずり葉の木の下」を歌います。

.....
定年後は幼稚園の送迎バス運転手をされていたという門井さん、小さい子とワンちゃんを見ると声をかけずにはいられないんですと語る優しい笑顔が印象的でした。

県連後援コンサート情報

2025年

7月

25日(金)	18:00～	金沢少年少女合唱団 第51回定期演奏会 合同ファミリーコンサート	港南区民文化センターひまわりの郷
27日(日)	13:30～	シーサイド・グレイスフル・シンガーズ 第13回定期演奏会	横浜みなとみらいホール 小ホール

8月

9日(土)	14:00～	藤沢ジュニア・コーラス 創立50周年記念コンサート	Fブレイス(藤沢市藤沢市民センター・労働会館等複合施設)
20日(水)	16:00～	舩の会 第14回演奏会	横浜みなとみらいホール 大ホール
22日(金)～ 24日(日)		うたフェスJAPAN'25スピリット オブ ザ シンガーズ in横浜・神奈川 県立湘南高校合唱部 東京メトロポリタン合唱団(公募)	横浜みなとみらいホール 大ホール
24日(日)	13:30～	高津市民合唱団 第31回定期演奏会	ミューザ川崎シンフォニーホール
24日(日)	13:30～	混声合唱団横浜ルミナス・コール 第21回定期演奏会	神奈川県立音楽堂

9月

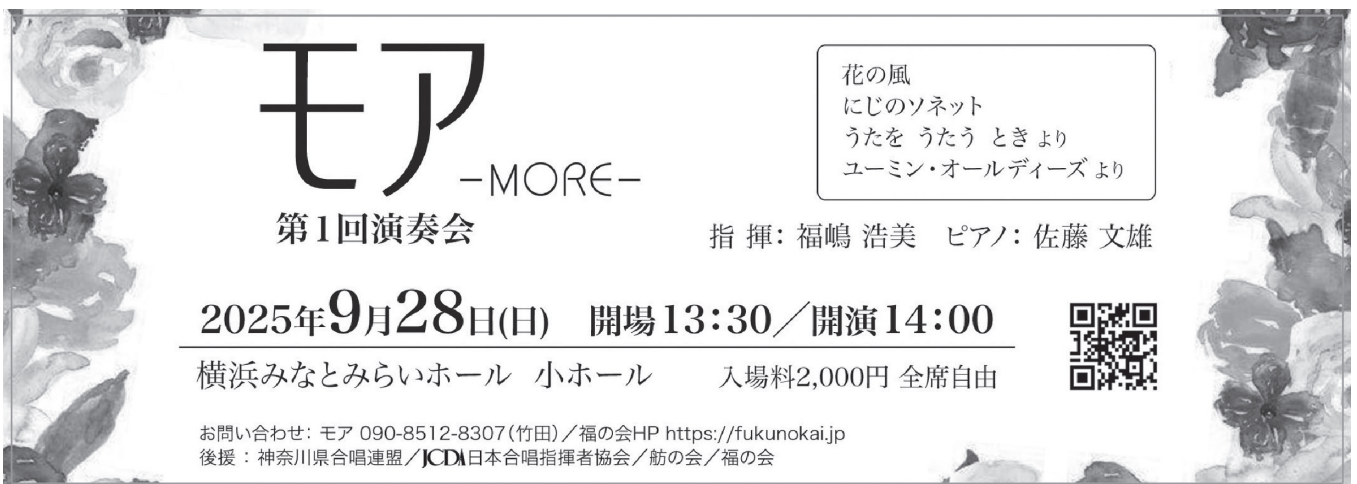
14日(日)	18:00～	グロリア少年合唱団 グロリア男声合唱団 旅する音楽 モーツァルトの時代	鎌倉生涯学習センター
23日(火・祝)	13:30～	ほどがや少年少女合唱団、Blue Leaf 合同演奏会 『ジグザグな道の途中で』	横浜みなとみらいホール 小ホール
27日(土)	13:30～	横浜国立大学グリークラブOB合唱団 第17回定期演奏会	神奈川県立音楽堂
27日(土)	14:00～	コーロ・ステラ 第10回演奏会	横浜みなとみらいホール 小ホール
28日(日)	14:00～	モア 第1回演奏会	横浜みなとみらいホール 小ホール

10月

7日(火)～ 9日(木)	10:00～	第64回「音楽堂・おかあさんコーラス」	神奈川県立音楽堂
16日(木)	14:00～	ボカ・グランデ 第19回定期演奏会	横浜みなとみらいホール 小ホール
19日(日)	14:00～	横浜オトリオ協会合唱団 第86回定期演奏会 オーケストラ グランベネ管弦楽団	大和市文化創造拠点シリウス やまと芸術文化ホールメインホール
26日(日)	14:00～	富士通川崎合唱団 Omnes 第11回演奏会 ～次なる一歩～	川崎市総合福祉センター エポックなかはら
26日(日)	14:00～	アンサンブル歌織 第6回演奏会	杜のホールはしもと
31日(金)	14:00～	緑フラウエンコール 第14回演奏会	大和市文化創造拠点シリウス やまと芸術文化ホール メインホール

11月

3日(月・祝)	14:00～	2025鎌倉湖畔コーラスコンサート	鎌倉芸術館 小ホール
---------	--------	-------------------	------------



モア

-MORE-

第1回演奏会

花の風
にじのソネット
うたを うたう ときより
ユーマン・オールディーズより

指揮：福嶋 浩美 ピアノ：佐藤 文雄

2025年9月28日(日) 開場13:30／開演14:00

横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料2,000円 全席自由



お問い合わせ：モア 090-8512-8307(竹田)／福の会HP <https://fukunokai.jp>
後援：神奈川県合唱連盟／JCD日本合唱指揮者協会／舩の会／福の会

☆コンサートガイド掲載要綱☆

◆ コンサートガイド掲載要綱（無料、県連ホームページに掲載）随時受付

下記の項目について記載の上、kanagawakenren@nifty.comまで電子メールでお送りください。
メールのタイトルを「コンサートガイド掲載依頼」としてください。

- ①合唱団名 ②演奏会タイトル ③開催日、曜日、開催時刻 ④会場名 ⑤ホームページのURL
⑥問い合わせ先(お名前、電話番号、電子メールアドレス)
⑦演奏会内容(指揮者、伴奏者、曲目等[50字以内]) ホームページがない場合のみ

◆ 有料広告（カノンに掲載）申し込み締め切りは下記の通り

ご希望のサイズで版下原稿をお送りください。(未加盟団体は倍額となります)

- 1/4サイズ(W182×H65mm) 5,000円 ●1/2サイズ(W182×H130mm) 10,000円
●1ページ(W182×H260mm) 20,000円

カノン発行日	春号 4月10日	夏号 7月10日	秋号 10月10日	冬号 1月10日
原稿メ切	2月28日	5月31日	8月31日	11月30日

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定(2025年8月～2026年6月)

- | | | |
|--|------------------------------------|----------------------|
| ●第68回神奈川県合唱コンクール
(第80回関東合唱コンクール神奈川県大会) | 8月16日(土)・17日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| ●第31回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル | 11月12日(水) | 横浜みなとみらいホール大ホール |
| ●第58回クリスマス音楽会「メサイア」演奏会(主催:神奈川県立音楽堂) | 12月7日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| ●かながわジュニア&ユース・コーラルフェスト 2025
(第44回神奈川県ジュニア合唱祭) | 12月21日(日) | 清泉女学院 講堂 |
| ●第28回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト | 2026年1月24日(土)・25日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| ●第48回神奈川県合唱フェスティバル | 2月11日(水・祝) | 神奈川県立音楽堂 |
| ●第49回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会～女声合唱の祭典～ | 4月18日(土) | 神奈川県立音楽堂 |
| ●第69回神奈川県合唱祭(4日間) | 6月13日(土)・14日(日)
6月27日(土)・28日(日) | 神奈川県立音楽堂
神奈川県立音楽堂 |

編集
後記

新年度がスタートしました。今年はどんな年になるでしょう。新しい曲や新しいメンバー、初めての試みなどなど、いろいろな出会いがありますように。自然災害や紛争が絶えない中でも、歌の力が広がっていきますように。

編集長 青山 道代



神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会
発行責任者 岩本 達明 編集責任者 青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通15 横浜朝日会館4階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐: 平日: 月火木金(休祝日を除く) 12:00~16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mailアドレス kanagawakenren@nifty.com

